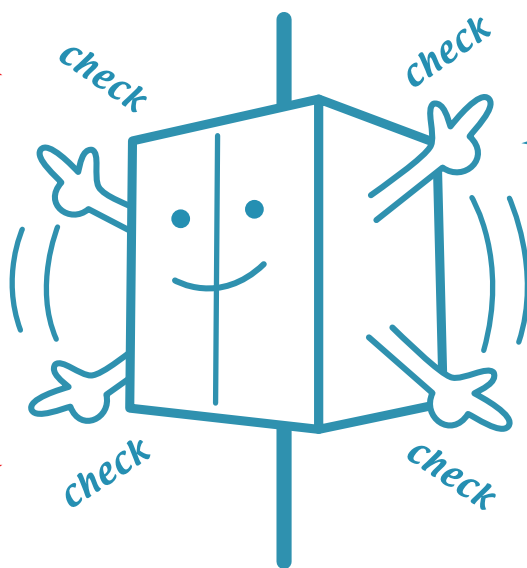


地震時エレベーター自動診断&復旧システム 診断ガル用

地震時管制運転装置で休止させたエレベーターを、
ELE-Quickが異常の有無を自動診断して安全性を確認。
約30分^{*}で運転を再開できます。



ロープ
おもり
スイッチ
ケーブル
ドア

ELE-Quick
にして
よかった!

地震後約30分^{*}で、運転再開。

*最下階から最上階の高さが30mの場合。

地震に備えた、これからのエレベーターのメンテナンスサービス。

ELE-Quick[®]

〈エレクイック〉

- 国土交通省が編集協力する「昇降機技術基準の解説」で導入が推奨されています
エレベーターが自動的に診断運転を行い運転を再開できる自動診断復旧運転の導入を図ることが望ましい。(出典:昇降機技術基準の解説 2016年版)
- 官庁施設の保全を実施するための基準となる「建築保全業務共通仕様書」で解説されています
エレベーター自体が自動診断して運行に関する安全を確認し、仮復旧させる装置のことをいう。(出典:建築保全業務共通仕様書及び同解説 平成30年版)

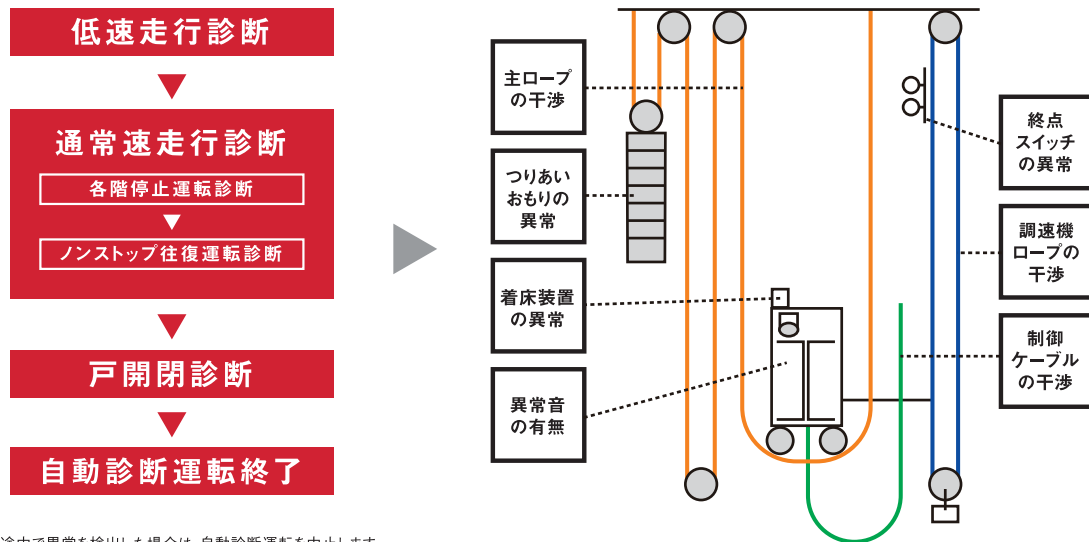
ELE-Quickなら、約30分で運転を再開。地震発生後の安全性と利便性を考えた独自のメンテナンスサービスです。

地震発生後の運転休止時間をもっと短くできないか。そこで、エレベーターの異常の有無を自動診断し、約30分で復旧するシステム『ELE-Quick』を日本で初めて開発。より早く、安全な運転再開を実現します。

地震発生 ▶ 地震時管制運転装置により運転を休止。

ELE-Quickがエレベーター内に乗客がいないこと、安全装置が正常に動いていることを確認。

ELE-Quickが段階的にスピードを上げながら、エレベーターの異常の有無を自動診断運転。

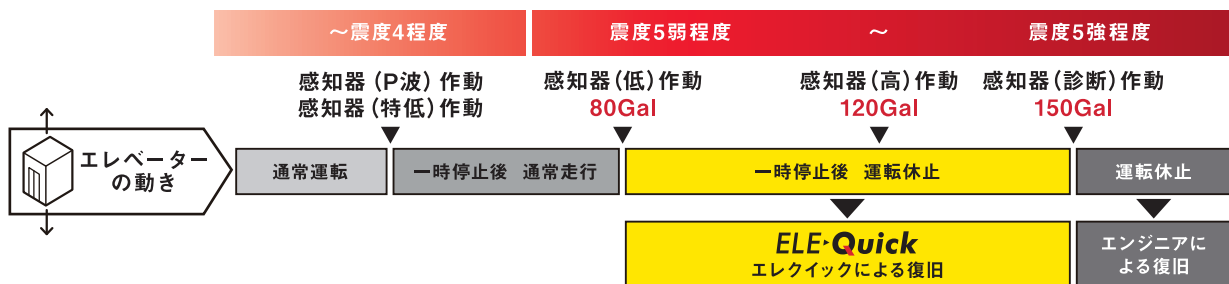


※診断途中で異常を検出した場合は、自動診断運転を中止します。
※感知器が「診断」を検知した場合やエレベーター内に乗客がいることを検知した場合は、自動診断運転を行いません。

約30分でエレベーターの運転を再開。
復旧後、エンジニアが安全の再確認にうかがいます。

自動診断と震度・Gal値の一例

〈エレクイック〉は、感知器(低)または(高)が作動して運転休止した場合に、自動診断・復旧を図ります。



※感知器の設定値はエレベーターの機種・建物の高さなどにより異なります。※震度とGal値の相関は目安です。

*1:最下階から最上階の高さが30mの場合。*2:地震の揺れの強さを示す加速度のCGS単位。
※ご契約の対象とならないエレベーターがあります。詳しくは、担当者にご相談ください。